

キャリアアップ第6回ディスカッション

2012年5月23日

テーマ：「就職ではやりがいを取るか？金を取るか？」

分担

- ・進行：谷
- ・書記：熊野

ルール

3つの班に分けて、30分話し合い、まとめた結果を3分で発表する。
発表後、各班3分の質疑応答を行う。

1班 発表

「お金を選ぶ」

生涯同じ会社で働くことを仮定する

仕事は生活、お金のために行うものである

お金があれば趣味や家族が充実する

お金がモチベーションになる

1班発表に対する質問

Q.やりがいがあれば趣味が充実するのでは？

A.生活は充実するが、お金があれば趣味も充実する

Q.やりたい仕事が趣味だった場合？例えば野球が趣味だった場合は？

A.会社で草野球をすればいいのではないかな

Q.就職するときお金があれば？

A.お金があれば働かなくてよいのではないかな

2班 発表

「やりがいをとる」

ただしお金はある一定のラインを超えていて、必要最低限お金があることを前提とする

生活の大半は仕事が占めている

今やりたいことは生涯仕事につながる

やりがいを感じていると健康になり充実した生活を送れるだろう

2班発表に対する質問

Q. やりがいってというのは具体的に何か？

A. やっているときに感じているものである。やりたいことをやっていると将来やりがいを感じるだろう

3班 発表

「やりがいを取る」

定義としてやりがいを取ることは給料が生活できるギリギリ貰える状態

やりがいを取るメリット

- ・ 事業を成功させていく喜びがある
- ・ 長く続けられる
- ・ 充実して仕事が続けられる
- ・ 充実した人生になっていく

やりがいを取るデメリット

- ・ 仕事だけの人生になる
⇒それはやりがいのある人生をとったことだから本人は覚悟している
- ・ 家族が養えない
⇒家族がいる時点では働いていることが前提なので、理解者をパートナーにしている筈
- ・ 仕事ができなくなったときに非常に困る
⇒同業社に再就職するのもやりがいである

3班発表に対する質問

Q. 3班の発表は企業するイメージなのか？

A. 一般的な就職活動をするときの考えである

Q. ギリギリの生活ということだが定年退職したらどうするのか？

A. 退職後は考えていない。働いている時の話であった

Q. やりがいをとってもお金がなければ旅行に行くことや趣味ができない。実際の社会ではお金があればそれができるのではないか？

A. 自分の中でやりたいことを仕事にしているのでそれが趣味である

Q.仕事以外のやりがいは？

A.他の部分は考えず仕事のやりがいをとる

次回課題（ディスカッション）

議題は来週発表

次回進行：小松

次回書記：松川